



【坊守のつぶやき】

最近教えてもらい、妙に気に入った言葉があります。

《永遠の微調整》、住職から教えてもらった言葉です。

2500年前のお釈迦様の教えを七高僧が解釈して伝わり、そして親鸞聖人を通して800年経ち、こうして現代まで届いている不思議さ、そして、時代が変化しているにもかかわらず、その教えが私の中に響いてくる有難さを考えると、人間の一生は当たり前のことですが、生まれて死ぬまでその繰り返しです。その繰り返しの中で教えは伝えられているから時代が変わっても私の中に入ってくるのかなあと、住職に話した時、この《永遠の微調整》という言葉を知りました。変わらないようにみえて、教えも私たちも微調整を繰り返しているということでしょうか。

恐らくみんな、何か壁にぶつかる「自分が変わらない」と、思ったことないですか。しかし、そんな簡単に自分というものは変えられません。それでまた悩みます。でも、「微調整」の「微」でいいのか、しかも「永遠に」、「命を終えるまで」と考えれば、なんだか肩の力が抜けませんか。

お釈迦様、親鸞聖人の教えも、《永遠の微調整》を続けて私にまで届いています。皆さん、仏法聴聞を楽しみましょう。お寺に肩の荷を下ろしに来てください。お待ちしております。

宗祖親鸞聖人御命日定例 ごあんない

2022年10月28日（金）午前9時30分から12時まで
夜8時から9時30分まで

11月10日（木）から13日（日）

いよいよ「御正忌報恩講」、ご協力、お参詣、お待ちしております。

●▲■●▲■おてらまいるはココロのストレッチ！●▲■●▲■